

BE KOBE BE KEIO

2022 年 1 月 31 日発行  
発行人：橋本敦子  
発行所：〒650-0024 神戸市中央区  
海岸通 8 神港ビルヂング 625  
TEL：078-393-0050  
FAX：078-393-0051  
E-Mail：[kobekeio@dream.ocn.ne.jp](mailto:kobekeio@dream.ocn.ne.jp)  
URL：<http://www.kobekeio.org/>  
編集人：鳥巢慶太／天竹清裕

## 年頭所感



2022 年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えになられたことと存じます。

昨年は、一昨年に引き続きコロナ災禍による厳しい情勢が続きましたが、そのような中で明るい結果として、東京 2020 オリンピックが成功裡に開催されました。さまざまな苦境を乗り越えて懸命に戦うアスリートたちの姿は、多くの人々に感動を与え、改めて、努力し前進することの重要性を学びました。

今年 2022 年は、コロナ環境下社会 3 年目となります。過去 2 年間で得た様々なデータを科学的に分析し、コロナウィルス感染症について感染症法上の扱い分類を明確にし、法的位置付けの確立により各種規制指針を解りやすく迅速に決定し対応できるよう厚生労働省に望みま

す。アフターコロナ禍に向けて、加速度的に社会が変革している現在、コロナ禍において学習し積み上げた知識を生かし、新たなるチャレンジを進めたいものです。

私は、神戸慶應倶楽部が塾員の自由で活気あふれる交流の場、つまり福沢思想の「人間交際」の場として、また現環境下において、自分で考え他人の考えにも耳を傾け、それぞれの考え方や立場を尊重する「独立自尊の人」の集合の場として、本年も可能な限り環境状況を見極めつつ、各種行事の開催を目指してまいります。

神戸慶應倶楽部の存在が会員皆様の心の支えとなれますよう役員・幹事会ひとつとなり努力してまいります。最後になりましたが、皆様の今年一年のご健勝を心より祈念申し上げます。

神戸慶應倶楽部会長 木村 健（昭57法）

## 12月家族例会



12月18日（土）18時よりポートピアホテルにて家族例会が開催されました。コロナの状況が落ち着いていることもあり、今回は59名の方が参加されました。特に子どもが14名の参加とあり、明るく、にこやかで、活気ある楽しい会となりました。

木村会長からご挨拶いただき、その後は堺前会長の乾杯のご発声で家族例会がスタートしました。お二人の話からも久しぶりに大勢で顔をあわせる楽しさ、そして幅広い世代で家族も含めた繋がりを大事にしている神戸慶應倶楽部の姿勢、を感じました。今回初参加の岩井様もご夫婦で参加されており、今後も神戸慶應倶楽部の姿勢を大切に、発展させていかなければならないとあらためて認識しました。

その後、ビンゴが開催され、一等のニンテンドウスイッチライトをはじめ、大量のうまい棒、など子どもたちが多くの商品をゲットしていきました。その後、宝塚OGの鳴海じゅん様、毬穂えりな様によるショーが行われました。華やかな衣装に、華麗かつ迫力ある歌声、魅力的な踊り、で会場が大いに盛り上がりました。こんなに身近に見ることができるなんて感謝です。

そして、休む間もなく恒例のオークションです。慶應ボーイの二人（鳥巢、天竹）進行で目玉商品のオークションが進みます。数々の貴重な品があった中でも、やはり宝塚OGとの写真撮影はプライスレスな体験で計5組の方が勝ち取りました。先輩方が積極的に手を挙げてくださり、そこに若手からも声があがりオークションは大いに盛り上がりました。

結果として、168,500円の売上となりました。たくさんの出品ありがとうございました。内容が盛りだくさんで、時間があっという間に過ぎていきました。最後に、城口副会長の挨拶、そして写真撮影をして、散会となりました。私個人としては、久しぶりにみなさんと会えてとても楽しかったですし、次回は家族で参加し、「若き血」をみなで歌いたいと強く思いました。

小松原 健裕 (H13法)





# 会員だより

## 《新入会の挨拶》

はじめまして、平成7年環境情報卒業の丸田力也と申します。在学時はパラグライダーに明け暮れ、海外遠征や、インストラクターとして働くなど、真剣にパラグライダーに向き合いましたが（三田評論にも掲載されました）、何度か死にかけたこともあり、大学卒業を機にパラグライダーも同時に卒業いたしました。現在は、登山と野球を趣味にしております。卒業後は外資系広告代理店にてアートディレクターに従事した後、独立して広告会社を営んでおります。

仕事の関係で神戸に引っ越しをしてきましたが、東京生まれ、湘南育ちのため、今までは、ほぼほぼ神戸に縁のない人生でした。ただコンパクトにまとまりながらも、多様な雰囲気がある神戸での生活が、すでに楽しくて仕方なく、神戸暮らしを満喫しております。神戸慶應倶楽部のみなさまに、神戸をもっと教えていただけることを楽しみにしております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

丸田 力也（平7環）

